

恒例の「秋の旨いもの会」 今年は青空の下で「バーベキュー大会」を開催しました！

10月16日(日)、会場は西東京市の「憩いの森公園」。以前は東京大学の農業演習場の一部であった場所で、東久留米稲門会としては久方ぶりの野外でのバーベキュー。過去に平成11年、15年と昭和記念公園で行われ、その参加者の方々から「また太陽の下でのBBQ」希望という声と、幹事の中から「BBQやりたいよねー」の気持ちが一致し開催の運びとなりました。大学校友会とのタイアップの一環で、若手校友の招待も併せて計画、若手代表で滝山地区より小宮淳太郎氏(30歳)の参加を得ました。総勢30余名とBBQでは最も数多くの方々に参加頂きました。天気はうす曇りから時々青空も顔を出し心晴れ晴れ、快適なBBQ大会となりました。

「あれから10数年、ちょっと歳とったなー。」とか、「青空の下、芝生の上で料理を食べ、酒を飲み、好きな仲間と好きなことを語らいあう、そんなゆったりとした時、これ即ち幸せ」とかいろいろな声あり。大きな声と沢山の笑顔があふれた会でした。

会員の奥様、女性会員の方々にはいつもながらお手伝い頂き感謝致します。

渡辺真司記



久々のBBQ、青空の下で「旨いもの会」

会の告知板

【部会予定】

11月11日(金)	I・R・S(いろいろスポーツ) バドミントン	10:45	東久留米スポーツセンター
11月14日(月)	ウォーキング 「明治神宮、新宿御苑他、菊の鑑賞」	09:50	東久留米駅改札口
11月23日(祝)	ラグビー観戦部会「対慶応戦」	14:00	秩父宮ラグビー場
11月24日(木)	映画鑑賞会「奇跡の人」	13:30	成美教育文化会館

11月 25日(金)	I・R・S(いろいろスポーツ)	バドミントン	10:45	東久留米スポーツセンター
11月 26日(土)～27日(日)	囲碁部合宿		<秩父 越後屋旅館>	
12月 2日(金)	I・R・S(いろいろスポーツ)	バドミントン	10:45	東久留米スポーツセンター
12月 4日(日)	ラグビー観戦部会「対明治戦」		14:00	秩父宮ラグビー場
12月 9日(金)	I・R・S(いろいろスポーツ)	バドミントン	10:45	東久留米スポーツセンター
12月 11日(日)	第4回役員会		16:00	生涯学習センター
12月 11日(日)	会長・部会長・役員忘年会		18:00	磯久ダイニング
12月 16日(金)	女性サークル「ランチ会」		12:00	鮮乃庄
12月 27日(火)	カラオケ部会「カラオケを楽しむ会」		18:00	オンチッチ
1月 14日(土)	諸芸術鑑賞会「ニューイヤーコンサート 2017」		17:00	練馬文化センター
1月 29日(日)	東久留米稲門会新年会		14:00	成美教育文化会館
4月 23日(日)	東久留米稲門会第23回定時総会		14:00	成美教育文化会館

<各部会定例活動一覧>

部 会	11月				12月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	18	金	10:30～	中央町地区センター	16	金	12:00～	ランチ会(鮮乃庄)
囲碁	26	土	合宿	秩父 越後屋旅館	25	日	13:00～	成美教育文化会館
俳句	20	日	13:00～	中央町地区センター	18	日	13:00～	生涯学習センター
書道	13	日	13:00～	西部地域センター	11	日	13:00～	スペース 105
太極拳	5	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	3	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	12	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	10	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	19	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	17	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	26	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	—	—	—	—

【大学・校友会関係】

11月 13日(日)	校友会三多摩支部大会	13:30	あきる野ルピア
11月 19日(土)	東村山稲門会総会	14:00	サンパルネ・コンベンションホール
12月 2日(金)	東京23区支部・三多摩支部合同会長懇話会	18:30	大隈記念タワー 森の風
12月 3日(土)	2016年商議員会フォーラム	14:00	大隈会館
1月 8日(日)	清瀬稲門会総会		

会の報告

◎役員会報告 平成28年度第3回役員会が10月2日(日)16:00～生涯学習センターにて開催されました。

<議事録概要>

議題

1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

- (1) 8月28日(日) 三多摩支部長会報告ーブロック制の変更(北部⇒新東部へ)
- (2) 10月 8日(土) 幹事長・事務局長会、(高橋出席予定)
- (3) 10月 8日(土) 代議員会(高橋、小山田出席予定)
- (4) 10月15日(土) 小平稲門会総会(安次峰、河村出席予定)
- (5) 11月13日(日) 東京三多摩支部総会(安次峰、河村、別処、高橋出席予定)
- (6) 11月19日(土) 東村山稲門会総会(河村、高橋出席予定)
- (7) 1月 8日(日) 清瀬稲門会総会(案内状到着後検討)



-
2. 秋のバーベキュー会 10月16日(日)13:30 西東京いこいの森公園
10月7日(金)19:00 東久留米市役所実行委員会
 3. 会長・部会長・役員忘年会について 平成28年12月11日(日)18時より
 4. 新年会について平成28年1月29日14時より
 5. 平成29年度定期総会について 平成29年4月23日(日)14時より
講演者は、高橋龍太郎氏。長束幹事が交渉 ⇒ 次回役員会まで
 6. 会員募集について 会費の納入状況未納者7名 ⇒ 督促状を再送する
 7. 広報関係 ・東稲ニュース ⇒ 執筆依頼、特にリレーエッセイの記事を募集
・ホームページの状況 ⇒ ホームページの改正、部会担当者もしばらく依頼する
 8. サークル・部会関係 (1) 散策山歩きの会・ウォーキング巾着田 9/23:雨中遂行 (2) ゴルフ会 10/3、
早慶戦 11/8 (3) 太極拳 10/22:十五周年記念稽古・懇親会 (4) 東京6大学野球早慶戦観戦:
10/30 参加依頼 (5)ラグビー観戦:今年の1年生は期待できる
 9. その他 会計より①平成28年9月30日時点の科目別収支実績について ⇒ 収支堅調
次回役員会 ⇒ 平成28年12月11日(日)16時より生涯学習センター

◎10月8日(土) 14時～15時30分、大隈小講堂で幹事長・事務局長会が開催されました。

概要について報告します。

1. 冒頭、福田代表幹事より、代議員新体制が6月よりスタート、今後の成果に期待したい。
熊本地震、秋田、岩手の台風の災害に対して、大学も支援をしている。
2. 2016年稲門祭について一長門実行委員長より、稲門祭のパンフレットが完成し、各稲門会に発送し、
ホームページも開始された。稲門祭記念品の販売は前年比20%の増加し、お礼の言葉が述べられた。
3. 前納10年会費期限切れ対応について一事務局より2002年度入学生より、卒業時に10年分校友会
費を前納する制度が始まり、2015年に満期を迎えたので、校友会費を引続き納入するよう実施してきた
諸施策の説明。
4. WASEDA'S Health Study 登録推進について一事務局より、登録目標15,000名に対して現在
2,713名であり、今後1年間に5,500名の登録を目指す。Aコース、Bコースは、インターネットで
できるので協力の依頼
5. 「新記念会堂募金」の寄付状況について一事務局より、20億円の目標に対して現在まで7億円、当
会は、三多摩地区で第一位の実績
6. 事業、組織、広報、学報各委員会からの報告
7. その他 ①校友会費納入率の向上について。②入試方式について一地方出身の学生を増やすため、
関西等への出張入試は、実施しないが、入試方法については検討している。③「早慶出身社長企業」
実態調査について一東の「早稲田」西の「慶応」 ④校歌の由来は、独立宣言 高橋哲男記

◎10月8日(土) 16時～17時30分、大隈講堂で秋季代議員会が開催されました。

概要について報告します。

1. 鎌田会長の挨拶

ア.新代議員は、2016年6月1日よりスタート、本日は1,300名中650名の出席、9月に入学式・卒業
式が開催され、卒業式は大学院含め1,420名、うち40%海外から留学生。入学式は998名、うち海
外留学生は828名。海外留学生は、全員で5,100名と増加している。学生全体では、入学生13,324
名、卒業生13,672名と約300名の減少。

イ.地方出身の学生は減少しており、地方を伸ばしたい。入学制度の見直しを検討している。奨学金制
度の充実、地方への支援。

ウ.少人数制への移行で50人以下の教室83%、20人以下では48%の状況である。

エ.リオのオリンピック 在学学生 8 名卒業生 16 名合計 24 名、メダリスト 5 名。

2. 福田代表幹事の挨拶

3. 2015 年度決算

4. 2015 年稲門祭について(幹事長・事務局長会と同じ)

5. 前納 10 年会費期限切れの対応について (幹事長・事務局長会と同じ)

6. 新記念会堂募金について

斎藤理事より、新記念会堂は 2019.3 竣工予定、名称は 10 月 21 日に決定。協力をお願いします。

高橋哲男記

◎10 月 23 日(日) 稲門祭

Welcome to Waseda Wonderland ～人・国・時を超える進取の聖地～ と銘打った 2016 稲門祭が、10 月 23 日(日) 大隈講堂を中心とした早稲田キャンパスで開催されました。講演会や討論会、キャンパスツアー、展覧会、落語会、音楽祭、各種パレード等々盛りだくさんの内容で、ホームカミングデーも同時開催されたこともあり、古き校友、中堅若手の校友とご家族の皆様等、たくさんの方々によってキャンパスが埋め尽くされた感がありました。全国の銘酒が飲めるコーナーを始め、各県支部による名産品の屋台も多く出店し、一日中楽しく遊べる、まさしくワンダーランドとなりました。

尚、記念品を購入いただいた方を対象に福引抽選会が行われ、当稲門会からの当選は昨年から 5 本増えて 16 本でした。皆様のご協力に感謝申し上げます。(詳細は P.11 の東稲広報室に掲載) 村野建彦記

10 月 23 日の秋晴れの中、稲門祭の実行委員として初めて稲門祭の運営のお手伝いをしてまいりました。村野先輩のご指導のもと無事にお手伝いが終わりホッとしています。私にとって二十数年前のホームカミングデー以来の大学キャンパスでした。大学キャンパスの変貌ぶりに驚くとともに、昔と変わらぬ大隈講堂や演劇博物館等を見ながら、しばし学生気分になってきました。

稲門祭のいいところは先輩であろうと、若い世代の校友であろうと、皆さん青雲の志を抱いていた学生時代にもどり、大学でのお祭りを、ワンダーランドを、大いに楽しんでいました。

私もはじめての実行委員ということで少し気が重かったのですが、先輩実行委員の「仕事をしながら、祭りを楽しんで」との教えに従い、キャンパスツアーのノリで楽しみながら役目を終えることができました。稲門祭、意外と楽しめる・・・。

小野泰右記

部会報告

<女性サークル> 「築地散策」 9 月 16 日(金)

築地市場が豊洲に移転する前に「築地でお寿司を！」という声が上がりました。女性サークルでは、これを部会での正式な行事にすることにいたしました。

築地本願寺の正門に 11 時に集合し、お寺にお参りをしました。そしてお寺の内外を見学し、ゆっくりと歩いて、『寿司三昧 奥の院』に行きました。ここでお寿司をいただきました。たまにはと言うことで、豪華な食事に舌鼓を打ちました。また、おしゃべりをして楽しい時間を過ごしました。

帰りは市場の場外をそぞろ歩き、「場外にまた、



築地本願寺にて

ゆっくりと来てみる」という方々もいました。豊洲移転問題がおきる前の、楽しい築地でありました。

出席者(9名)：川島知子、河村洋子、吉川明美、酒巻千賀、佐藤百合子、三浦洋子、村上早苗、
山岡恭子、石寺美弥子

石寺美弥子記

＜ウォーキング部会＞ 9月23日(金) 第56回 高麗の巾着田を散策 “五百万本の曼珠沙華に染まる”

当初予定の9月23日(金)は、1週間前までの天気予報は良かったのですが、期近になるに従って秋雨前線の居残りが続き、前日での予報は午前中曇りで午後から雨となりました。どうしようかと思案を重ねた結果、前回の御岳溪谷のウォーキングでは延期したことにより参加予定者が大幅減少となったことも考え、今回は歩く距離も少ないので午前中だけでも雨が降らなければ何とかできると判断し、また延期の場合は日曜日となることから予想される大混雑は避けたいとの思惑も持ちながら、当日を迎えました。集合時間では予報通り雨は降っておらず、実行致しました。それでも、雨予報から中止に違いないと判断した方がいらっしや

ったようで、参加者が7名に留まったのは残念でした。
高麗駅に着いて、先ず途中にある高麗郷古民家を見学し、土地の庄屋の豪壮な総二階の建物と付属の幾棟かの蔵のスケールに度肝を抜かれたあと、巾着田入口にある高麗郷民俗資料館を見学しました。この2つの場所で、この地方が「高麗こま」と呼ばれる由来、古代朝鮮半島の高句麗という彼方からの渡来人が住みつき、爾来 1300

年を経た歴史を興味深く学びました。また、東久留米のお隣の新座の名が、新羅に由来することを知りました。

そうしている内に残念なことに雨が予報より早くやってきました。しかし、5百万本という曼珠沙華に覆われた、辺り一帯を壮観とも言える紅色(真っ赤と言ってもよい)に塗りこめた情景には些かな影響

もなく、それを観る者達を深紅の中に包含してくれていました。正に紅色の圧巻に浸っていました。

高麗川が巾着のような形状で流れている場所も不思議な造形ですが、この場所に曼珠沙華の群落が出来た理由も興味をそそわれました。球根植物であるが故に種で増える植物のように辺り一面に種を振りまいて自然に形成したものではなく、最初は多少の花が咲いていて、次第にそこに人の手が



写真右側は真紅の曼珠沙華の群生 (是非カラーのホームページで見てください)



テントでの昼食

加わって増えてきたのが正解であろうという単純な答えに行き着きました。曼珠沙華という、仏教で説く天上に咲き見る者の心を柔軟にするとされる花は、一方、根に毒を持つことから、川の堤に植えることにより野ネズミによる害を防いだということも言われているようです。

深紅の群落の横手の広場には、飲食物を売る沢山の店が出ており、その脇に沿って架設されていた行楽客用のテントの中に、運良く参加者全員が囲むことの出来るテーブルと椅子を確保することが出来ました。これは、予報より早く訪れた雨の下では大助かりでした。早速、途中で仕入れて行ったビールで乾杯となり、わいわいがやがやの昼食となりました。

帰路の途中に期待していたコスモスの原は、今年の台風でなぎ倒されたとかで、観る影もない有様であったのはガッカリでした。帰路にかかる頃には雨も上がり、予報より早かった雨の訪れが恨めしく思えました。

恒例により、東久留米に着いて、希望者による打ち上げで締めました。

東海俊孝記

<ゴルフ部会>

10月3日(月)美里ゴルフクラブで稲門ゴルフ会を開催。参加者は少数精鋭(含む非精鋭1名)の7名で接戦となりましたが大工原光男さん(49 年政経卒)がグロス 87、ネット 73 で初優勝。2位清水さん、3位は平子さんで順当な結果でした。

秋シーズンの2戦目として11月8日に第26回東久留米三田会・稲門会対抗ゴルフ

会が開催されます。稲門会からは9年ぶりの参加の川上さん(32 政経)、初参加の横田治彦さん(45 理工)、山口謙二さん(49 政経)を含め16名が参戦予定です。

大工原さんから下記の通り寄稿していただきました。

伊東 毅記



曇りでしたが、まずまずのゴルフ日和でした

20 年位前に一度稲門会に参加したことがあります。西武園ゴルフ場でのコンペでした。当時 50 歳前だったと思います。その後会社がガタガタし、仕事も忙しくなり参加しなくなりましたが、2 年前 40 年勤めた会社で定年となり、久しぶりに昨年春、稲門会ゴルフに出戻り参加しました。

ゴルフは大好きで 30 代後半にはよく練習しましたが、最近は練習しないし、ホームコースはあるのですが、コースにもあまり出ておりません。過去の遺産を食いつぶしてやっている感じです。体力の低下とともにスコアも落ちていくことを実感し、こりゃいかんと思いながら、その前にどうやって体力を取り戻すかが今の課題で、体育館のスポーツ教室に頼ろうかなと思いながら、まだ実行していないのが実態です。

昔のよしみの断れない関係で最近受講した経営研修会で「エニアグラム」と「感性哲学」という言葉を知りました。「エニアグラム」は性格分析で、自分や周りの人がどういう性格かを判断する手法です。「感性哲学」はまだ手つかずで、これから勉強しようと思っていますが、おもしろそうですが難敵です。人生の終盤に差し掛かって、どう生きるかに思いを馳せております。

資本主義が前例のない新たな方向に向かっていると 10 月 16 日 NHK の特集でやっていましたが、私たちも前例のない高齢化社会に突入しています。予測できない未来は何か不安です。少しでも未来がわかれば安心できるのですが？、答えは得られず、毎日を過ごしています。

49 年法卒 大工原光男

<太極拳の集い> 「十五周年記念集会・懇親会」



15 周年の稽古・懇親会に集まったメンバーで記念撮影

平成 28 年 10 月 22 日（土）成美教育文化会館で創立十五周年記念稽古・懇親会を開催しました。早いもので、平成 13 年 9 月に東久留米稲門会に太極拳のサークルが出来て満 15 年を迎え、16 年目に入っています。

この間紆余曲折がありましたが、会員皆様の暖かくまた力強いご支援に支えられ、15 年を迎えたことは大変光栄なことで感謝しています。現在の組織になったのは平成 19 年 4 月からですが、設立当初からの会員に加え、新しい会員も増え、名簿上では 30 余名になっています。

当初から有資格の師範・指導員もなく文字どおり「無資格・無免許運転」で活動して来ましたが、DVD や YouTube の動画それに参考図書、更には個人的に太極拳教室に通って技術を磨き、会員の皆様と楽しく太極拳を演武しています。



稽古風景

発足当初は『楊名時の健康太極拳』だけを稽古していましたが、最近では制定太極拳の『簡化二十四式太極拳』を稽古のメニューに取り入れ、太極拳を楽しんでいます。

名簿上では 30 名を超える会員が登録されていますが、残念なことに稲門会会員が半数に満たないことです。興味のある方は土曜日の午前中、成美教育文化会館に足を運んでみてください。

見学は自由、入会随時、初心者歓迎です。

鮎貝盛和記

<ラグビー観戦部会> 「ラグビー実りの秋」

10 月 2 日 筑波戦。昨年帝京に勝った唯一のチーム。練習試合を組んでないので力の程不明。快足福岡が卒業。4 年生になった山沢は Top league で Play することになって大学では出ない。この辺に勝機が。勝っておけば選手権進出近づく。開始早々筑波陣でファーストスクラム。筑波コラプス。今日に行けるの感触。SH 斎藤、SO 岸岡の長短ハイパン、これを出足良く catch。危なげ無し。4T2G で 24:0 での折り返し。後半に入って筑波にわかに元気づき 2T1G で 24:12 と迫るもここまで。早稲田 3T2G1PG の追い打ち。46:12 で試合終了。こう言う試合が出来れば青学戦心配無かろう。

ところが、10月16日今シーズン No Try で問題無しと見ていた日体の健闘に会い、6Tも献上 45:40 と薄氷の勝利。ハイパン catch、ブレイクダウンいずれも筑波戦の出来は無し。青学戦心配。FW 機動力の核加藤君も怪我だし。

10月23日青学戦。HP でスタメンを見てビックリ。15名中8名が一年生。
現場に行かず、囲碁部会へ。友人より携帯に途中経過・結果の報告「危なげないよ。勝てるよ。」
「48:19で勝ったよ」対抗戦4位以内、大学選手権進出確定。

11月6日帝京戦 最後の20分がどんな試合になるかチーム力が判る。けが人が出ないように。

23日慶応戦一寸しょっぱい相手だが勝ちたい。

12月4日早明戦 CTB 梶村が怪我から戻る BACKS は強力だが慶応よりは狙い易いと見る。
日に日に成長する一年生、伊藤コーチにどやされて強くなってきたスクラム。加藤君、宮里君等が怪我から復帰すれば、あきらめていた大学選手権年越しも夢ではなからう。組み合わせに恵まれたい。

10月24日 藍原昌義記



<俳句部会>

第194回句会 9月18日(日) 於:生涯学習センター

兼題「夜長」 「桔梗」

漁火の沖にとどまる夜長かな	藤田貞夫
人去りてただ潮騒の秋の浜	川俣栄一
旅日記書き足す宿の夜長かな	松田博雄
白桔梗光秀祖と母自慢	馬場清彦
咲き満ちてなほも淋しき桔梗かな	片平るみ
長き夜や静寂なる音ひとり聴く	神田尚計
書を伏せて円生を聞く夜長かな	杉本達夫
子の旅を地図で追ひゐる夜長かな	松田博雄
掛け時計打つ音ゆっくり秋の夜	川俣栄一
ふとよぎる心のかげり夜の秋	三田畔巢

第195回句会 10月16日(日) 於:中央町地区センター

兼題「赤い羽根」 「紅葉狩」

峡の宿湯けむり越しの紅葉狩	川俣栄一
駅前の黄色い声や赤い羽根	馬場清彦
豆腐屋の午後の静寂秋深し	神田尚計
赤い羽根つけて少女の一輪車	三田畔巢
店番の猫の首輪に赤い羽根	神田尚計
異状無し検査の結果天高し	比護喜一郎
木戸開けて誰か来そうな萩日和	三田畔巢
トロッコにゆられ移ろふ紅葉狩	大久保泰司
ひとりごと多くなりけり秋ひとり	馬場清彦
赤い羽根戦争知らぬ子供達	比護喜一郎



三点句以上 片平るみ記

<野球早慶戦観戦部会> 10月30日(日) 第2戦観戦

平成28年10月30日、明治大学の優勝が決まり早慶戦は2位争い、肌寒い日であったため、観戦参加者は山口会員と2名。

初回、日本ハムにドラフトされている石井が、日本シリーズ優勝の祝砲、二回竹内の適時打で二点のリード、その後、慶応山本瑛の適時2塁打で一点を返されたが、竹内の好投により、二対一で雪辱。両軍各11三振、安打も早稲田5本、慶応4本の貧打戦。帰路に二人で「部活動の充実」のテーマで一杯

・・・翌日、広島にドラフトされた慶応加藤拓に2安打完封され勝ち点おとす・・・

高橋哲男記



2人で母校の応援

船津 高志 (S57 理工)

みなさんは、東久留米市に「市民大学」という活動があることをご存知でしょうか？
(<http://www.city.higashikurume.lg.jp/shisei/kyoiku/shogaigakushu/1001881.html>)。これは、東久留米市の生涯学習課の委託を受けた NPO 法人東久留米市文化協会によって運営されています。

「市民大学」には、一つのテーマをじっくりと多角的に学習する「中期コース」と、講師と受講生が協力して講座を運営する「短期コース」とがあります。「中期コース」では、9月から12月まで毎週水曜日に講義・見学・意見交換会などを行っており、このカリキュラムの一部が「公開講座」として一般市民に公開されています。

NPO 法人東久留米市文化協会の役員をしている東久留米三田会のメンバーから、「公開講座」の講師を依頼され、「蛍光がもたらした医学・生命科学の進歩」という演題で、9月14日(水)午前10時～正午、東久留米市役所1階市民プラザホールにて講義を行いました。当日は、市民の方が97名参加されました。その講義内容を簡潔に紹介したいと思います。

私たちの体は様々な組織から成り立っており、組織は様々な細胞、細胞は様々な生体分子で構成されているといったように階層構造を持っています。この生物の営みを顕微鏡などを用いて画像化し、その仕組みを解明する研究方法を「バイオイメーキング」と呼びます。この際、蛍光物質を利用して生体分子を光らせ、その蛍光を高感度に検出する技術が有効です。本講義では、1. 生体分子、2. 蛍光、3. 蛍光タンパク質、4. 1分子蛍光イメージング、5. 超解像蛍光顕微鏡法、6. 蛍光の医学・生命科学への応用、7. ヒトゲノム解読と未来の医療という構成でお話をしました(当日の資料は以下の URL よりダウンロードできます (24 Mb))。(<http://www7a.biglobe.ne.jp/~funatsu/class/higashikurume.pdf>)。特に、3の「蛍光タンパク質」と、5の「超解像蛍光顕微鏡法」は生命科学研究に大きな貢献をしました。その結果、「蛍光タンパク質」は2008年、「超解像蛍光顕微鏡法」は2014年のノーベル化学賞の対象となりました。本稿では、「蛍光タンパク質」と「超解像蛍光顕微鏡法」について説明したいと思います。

蛍光タンパク質：オワンクラゲ (*Aequorea victoria*) から緑色の蛍光を発するタンパク質(緑色蛍光タンパク質)が下村脩博士によって発見されました。緑色蛍光タンパク質の変異体が作られ、様々な色の蛍光を発する蛍光タンパク質が作られました。蛍光タンパク質の遺伝子を任意のタンパク質をコードする遺伝子と繋げることにより、任意のタンパク質の発現を蛍光で可視化することができます。今では、細胞生物学、発生生物学、神経細胞生物学などで有効な道具として世界中の研究室で使われています。

超解像蛍光顕微鏡法：光は波動としての性質を持つため回折という現象が起こり、発光する分子が波長の半分程度に近づくと1分子か2分子かの区別がつかなくなります。これが、光学顕微鏡の解像度の限界を決めていると信じられていました。しかし、最近になって、この限界を超える超解像光学顕微鏡法が開発されました。回折限界よりも接近した2つの蛍光分子が同時に蛍光を発している場合、2つ分離してイメージングすることはできません。しかし、2つの分子を別々に光らせることができれば、蛍光分子の位置を輝度分布の中心位置としてナノメートルの精度で求めることができます。蛍光分子の明滅を上手く制御して別々に光らせることにより、分子の位置を光の回折限界を超えた精度で決定し、約10,000枚の画像を取得して重ね合わせることで全体像を再構成します。このようにして超解像の画像が出来上がります。この場合、焦点面上では約20 nm、奥行き方向には約60 nmと、従来の光学顕微鏡の10倍の解像度を得ることができます。超高解像光学顕微鏡により、従来の顕微鏡では捉えることの出来なかった微細構造が明らかになりました。

本稿では解説できませんでしたが、生体分子の機能解析や、遺伝情報の解析など、蛍光が生命科学や医学の分野で大活躍しています。この記事をきっかけとして、「バイオイメーキング」に興味を持っていただけると幸いです。

部会だより

<ウォーキング部会>

第 57 回「豪華な菊花展と銀杏並木」 (明治神宮、新宿御苑、神宮外苑)

日時：11 月 14 日(月)

＊雨天の場合：11 月 22 日(火)に延期。新宿御苑の菊花展は終了しています。

＊＊事前に参加の連絡をして戴けると助かります。延期の場合は連絡を致します。

集合：9:50 a.m. 東久留米駅改札口 ☆途中参加の方は事前に連絡を！

東久留米 10:01 発 → 原宿 10:50 頃着

明治神宮 1 時間(参道散策、菊花展、参拝)

新宿御苑 2 時間 30 分自由散策 昼食、伝統の菊花展、

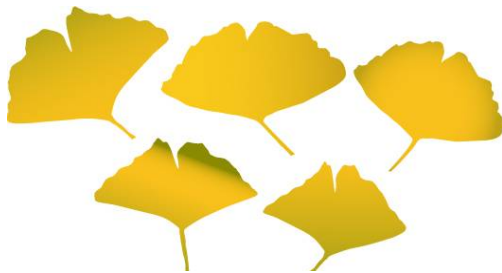
苑内散策、バラ花壇、神宮外苑へ 絵画館前 → 御観兵衛

→ 銀杏並木 地下鉄青山一丁目駅着発(都営大江戸線練馬

乗換え) 東久留米着 16:00

歩行距離：今回は、距離も短く、「歩くことはどうも苦手という方」も大丈夫です。

★途中お疲れの方は、新宿御苑で止め、地下鉄副都心線
新宿三丁目駅から帰れます。



費用：参加費 100 円、各自負担：交通費 905 円、
新宿御苑入場料 200 円、食事代等

連絡先：東海俊孝 電話 473 - 8566

e-mail toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

別処尚志 電話 475 - 1710

e-mail t_bessyo@jcom.zaq.ne.jp

●e-mail を使える方は、e-mail でお知らせ下さい。



今後の予定：2 月中下旬 梅林を訪ねる(場所：未定) お勧めの場所があればお知らせ下さい。

4 月 5 日(水)～7 日(金)高麗駅から日和田山(海拔 305m)、巾着田で花見：桜、菜の花

東海俊孝記

<映画鑑賞会> 11 月 24 日(木) 会場 13:30 開宴 14:00 於：成美教育文化会館

『奇跡の人』1962 年 アメリカ映画 上映時間 106 分

熱病のため目耳口が不自由になったヘレン・ケラーが、サリバン教師によって人生に光を見出すまでのすさまじい苦闘を描いた感動的名作。ウィリアム・ギブスンの戯曲の映画化。ヘレン・ケラーは大変な親日家で 3 度日本を訪問している。この映画の主演二人の熱演により 1962 年度のアカデミー賞は、

サリバン役 — アン・バンクロフト アカデミー主演女優賞

ヘレン・ケラー役 — パティ・デューク アカデミー助演女優賞を受賞している。

日本では 1963 年に封切られ、キネマ旬報の外国部門で第 2 位に選出された。(因みにベスト 1 は「アラビアのロレンス」)

監督：アーサー・ペン (舞台演出家出身) 米光慶二郎記



＜カラオケ部会＞ 12月27日(火)「カラオケを楽しむ会」のご案内

「秋の日は釣瓶落とし」、そしてすぐ年末、まさに「歳月、人を待たず」です。今年も後期のマイクのシーズンを迎えます。高齢化が進み、平均寿命は延びつつありますが、いつまでも元気である秘策の一つに、できるだけ声を出す、それもお腹の底からというのがよろしいようですので、予定のつく方は、是非ご参加いただきますようご案内します。

なお、これまで12月は最終土曜日に開催していましたが、会場の都合により、今後とも12月は最終火曜日に変更させていただきますと思います。

1. と き 平成28年12月27日(火) 18:00
2. と ころ オンチッチ 市内東本町1-9
TEL.: 042-477-7333
3. か い ひ 4,000円
4. ご連絡 高柳康夫 TEL:042-473-3559
携帯:090-8741-8424

E-mail: y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

※ ご参加の方は、お手数ですが、12月26日(月)までに必ずご連絡いただきますようお願いいたします。

高柳康夫記



＜諸芸術鑑賞部会＞ 1月14日(土) 『ニュー イヤー コンサート2017』

耳を澄ませば新しい年の足音がかすかに聞こえてくる晩秋の頃 恒例の通称早稲オケ「早稲田大学交響楽団」のニューイヤーコンサート2017のお知らせです。大正2年設立以来既に100周年の歴史を誇るオーケストラは、部員も300名以上の大勢です。ますます腕を上げ、国内外にその実力が認められて演奏会を行なっています。今回のプログラムは同封のチラシの通りです。「フィガロの結婚」「セヴィリアの理髪師」からの曲も、皆が親しみのある曲ばかりです。快活なメロディを、オペラの美しく華やかな、また愉快なあの舞台の場面を思い浮かべつつ、楽しんでいただきたいものです。皆様のご参加をお待ちしています。

◎日時: 1月14日(土) 午後5時開演 (4時30分開場)

◎場所: 練馬文化センター (西武池袋線 練馬駅前)

◎申込: 菱山房子 TEL&Fax 042-473-5964

◎締切: 12月31日まで

菱山房子記



東稲広報室

＜秋の旨いもの会 会計報告＞

【収入】会費…¥87,000 【支出】施設利用料…¥36,720 飲料・食材費他…¥40,900

【収支】¥9,380の余剰…その他収入に繰り入れ計上しました。

会計幹事 清水正弘記

＜稲門祭グッズ福引抽選当選者＞

[職域賞] (下2桁番号 28、91) 591 上田敦嗣、4591 比護喜一郎、4928 大野三田会会長

[ふるさと賞] (下2桁番号 75、76) 575 安宅武一、576 安宅武一、

[校友会賞] (下1桁番号 0) 570 安次嶺暁、580 伊東毅、590 上田敦嗣、600 小山田朋樹、610 片平るみ、620 高橋哲男、4590 比護喜一郎、4600 村野建彦、4720 山岡恭子、4890 山崎敬雄、4930 大野三田会会長、(以上敬称略) *昨年度は11本の当選でしたが、今年は16本の当選となりました。ご協力ありがとうございました。

稲門祭担当幹事 村野建彦 小野泰右記

去る4月28日、29日に一泊で長野市大岡の天宗寺にある「合掌桜」を見に行ってきました。天宗寺は、天正3年(1575年)に建立された寺で、本堂前の2本の桜は建立の記念に植えられた、と伝えられ、樹齢約400年と推定されている。樹高は2本とも約19mで、西の桜は地上4mで4本、東の桜は地上3.5mで3本の太枝に分かれ、敬虔な信徒が本堂に向かって手を合わせる姿に見えることから、いつしか「天宗寺の合掌桜」と呼ばれるようになったとのこと。天宗寺の有る長野市大岡は、市中心から車で40～50分程の棚田が連なる山間の地。

そもそもあまり名の知られていない(と私は思うのだ)この桜をなぜ見に行くことになったのか。その訳は・・・。

私の卒業した高校は旧制府立高等女学校でありました。そのせいか私の世代は1学年(12クラス)で1クラス分(約50名つまり1クラス当たり女子が6名程)多い状態。その為かどうか定かではないが、女性が主導権あるいはイニシアチブを握る事が今もって多いようで。

さてクラス会は卒業後10年間隔で開かれていたが、還暦を迎えてからは毎年開催されている。出席は現在では男性が10名程(在籍24)女性15～16名程(在籍30)、ここでもやはり女性軍の方が多い。少々くどくなったので、先を急ぐ。クラス会メンバーに、ご主人の定年後長野県にIターンし、コメ作りを始めた女性がいる、3年前のクラス会に久しぶりに出席し、彼女のコメ作りが話題となった。話の中で秋の棚田を見に行こうと、これも女性主導で決まったようであった、と記憶(当然のことながら、アッシー君は男性陣)。さて時は一昨年の秋、男性4名女性3名で9月上旬に訪れた実りの秋の棚田は見事なものであった。その時に件の合掌桜に案内され、その雄大さに驚き、今度は満開の時に来たいものだ、の声が多かった。

2年後の今年、観桜旅行の計画が煮詰まり、前回とほぼ同じメンバー、男女各3名で実施と相成った次第。車2台に分乗し、出発。ところが4月28日は生憎の雨、事前の彼女の情報では開花が早く、散り始めた、とのこと、いやな予感がしたが、まあ大丈夫だろう、と自己暗示をかけておった。さて、関越道から上信越道の道すがら、車窓から花が残っている桜を散見し、自己暗示は少しだけ強くはなった。

上田ICを出たところで彼女ご夫妻の乗る車と合流して、別所温泉に向かう。まず国宝の八角堂がある常楽寺を参拝し、善光寺と向き合うように本堂が北向きに建っている北向観音堂を訪ね、「無言館」の戦没画学生の作品を観て後、今宵の宿である聖山パノラマホテルへ向かった。この間、雨は一向に止む気配がなく、自己暗示は弱まって行く・・・。その晩のプチクラス会はけっこう盛り上がり、桜のことは頭から消え去って、おばさん達(ゴメンナサイ)もみな二次会に参加、酒の肴の話はやはり高校時代の思い出話(体育祭、文化祭、彼と彼女の噂話や目撃談)とその解釈論などなど、なぜか学業の話は少しだけ、でもまあ50年以上も前の話をよくもまあ憶えているものだね。お酒もかなり消費したようで。

さて翌朝、前日の雨はすっかり上がり、太陽が燦々と、ただ雲も多く北アルプスの山々は雲海の彼方にちらと見えたのみ。朝食を済ませた後、ご夫婦の案内でいざ「合掌桜」へ。棚田の連なる山間は、日の光が満ち満ちて温かく、鶯が鳴き時々雉の声も聞こえ、菜の花、桜も咲き残っており、春真っ盛り。合掌桜の天宗寺門前の駐車場に着いて、車から降り、山門越しに合掌桜に目をやって、一同目を疑った。なんと青々と葉が茂った桜がそこにあったのだ。まわりの桜はまだ花が残っている木があるというのに。だがしかし、葉桜もまた一興かも、「合掌桜」ほどの大木になると、葉桜も結構見られます。なんだか負け惜しみなのですが・・・。

観桜のプチクラス会のお話は、これにておしまい。最期まで読んで下さった皆様に御礼申し上げます。

<編集後記>

11月7日は立冬。冬の語源は一説によると、「冷ゆ」から来たと言われているようです。だんだん寒くなって、いよいよ鍋料理の季節。皆で集まって、といえ、去る10月16日に「秋の旨いもの会」のバーベキューが開催され、30名超の参加を頂き、招待者の小宮さんも参加され楽しく過ごすことが出来、成功裏に終わることが出来ました。

エッセイ原稿募集中！ 会員の皆様、1600字前後で噴水広場にエッセイをお寄せください
--